

2.5 許可対象行為の考え方（土地の形質変更）

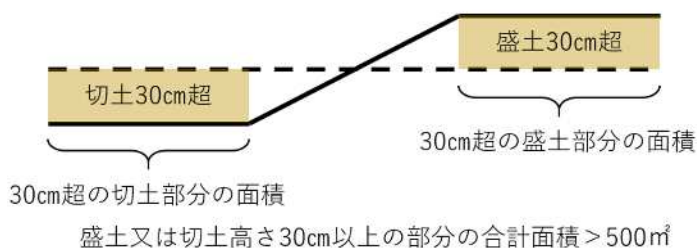
2.5.1 盛土等を行う土地の面積が 500m² を超える場合

[面積の考え方]

東京都と墨田区とで異なる部分

- 盛土・切土全体で「盛土又は切土をする前後の地盤面の標高の差」が 30 cm を超える部分と超えない部分がある場合、30 cm を超える部分の面積が 500m² を超える場合、許可対象行為とする。

図 1-19 盛土又は切土する土地の面積が 500m² 超で、盛土又は切土をする前後の地盤面の標高の差が 30cm 超となる場合イメージ



[原地盤面の考え方]

- 凹凸が続いている地盤面の高さを変更する場合、盛土又は切土をする前後の地盤面の標高差の考え方は、図 1-20 に示すとおり。

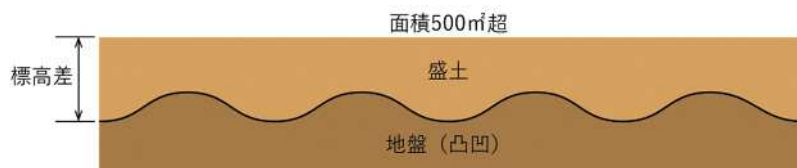


図 1-20 標高差の考え方

[建築に伴う掘削を同時に行う場合の考え方]

- 図 1-21 に示すとおり、盛土又は切土をする土地の面積に建築物の建築に伴う掘削部分の面積は含まない。

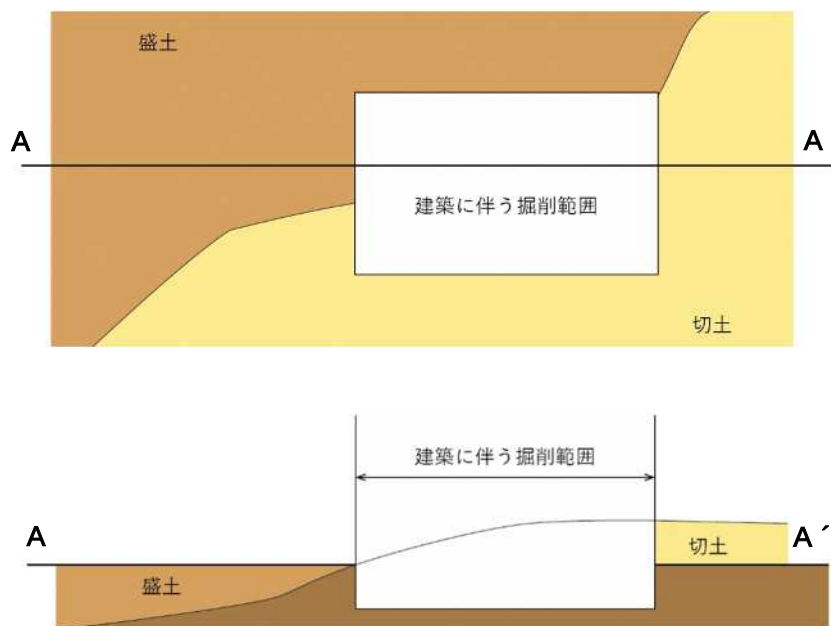


図 1-21 建築に伴う掘削範囲